

**製品名: MARCKS (リン酸化 Ser158) ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab04973**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

## 抗原情報

遺伝子名	MARCKS
別名	MARCKS; MACS; PRKCSL; Myristoylated alanine-rich C-kinase substrate; MARCKS; Protein kinase C substrate; 80 kDa protein, light chain; 80K-L protein; PKCSL
遺伝子 ID	4082.0
SwissProt ID	P29966
免疫原	抗血清は、Ser158 のリン酸化部位周辺のヒト MARCKS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 126-175

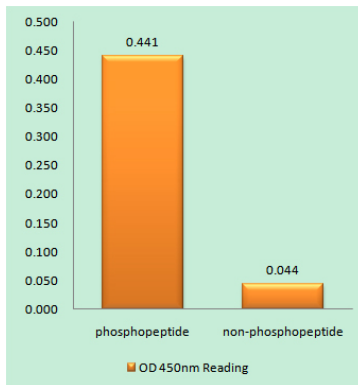
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼ C の基質です。細胞膜に局在し、アクチンフィラメントを架橋するタンパク質です。プロテインキナーゼ C によるリン酸化、またはカルシウム-カルモジュリンとの結合により、アクチンおよび細胞膜との結合が阻害され、細胞質中に存在します。このタンパク質は、細胞運動、貪食、膜輸送、および有糸分裂誘発に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: MARCKS は、プロテインキナーゼ C の最も重要な細胞基質です。このタンパク質は、カルモジュリン、アクチン、およびシナプシンと結合します。MARCKS は、フィラメント状の (F) アクチン架橋タンパク質です。PTM: PKC によるリン酸化により、MARCKS は膜から排除されます。また、F-アクチン架橋活性を阻害します。類似性: MARCKS ファミリーに属します。、

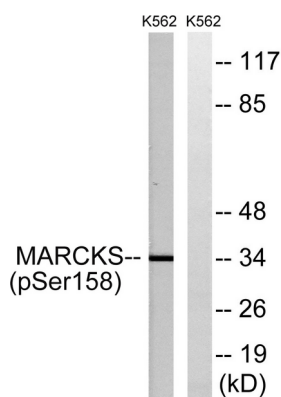
## 研究分野

Fc ガンマ R を介した貪食作用;

## 画像データ



MARCKS (リン酸化 Ser158) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



MARCKS (リン酸化 Ser158) 抗体を用いた、EGF 200 ng/ml 30 分処理した K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。